

# 9-H シイの巨木 ブナ科シイノキ属

シイノキ属はツブラジイとその変種のスダジイに分類されるが、巨木分類では両者を区別しない。一般に呼ばれる「シイの巨木」として分類し、シイの巨木は以下に分類される。

9-H-1 単幹シイの巨木

9-H-2 根上り・株立ちシイの巨木

## 9-H-1 単幹シイの巨木

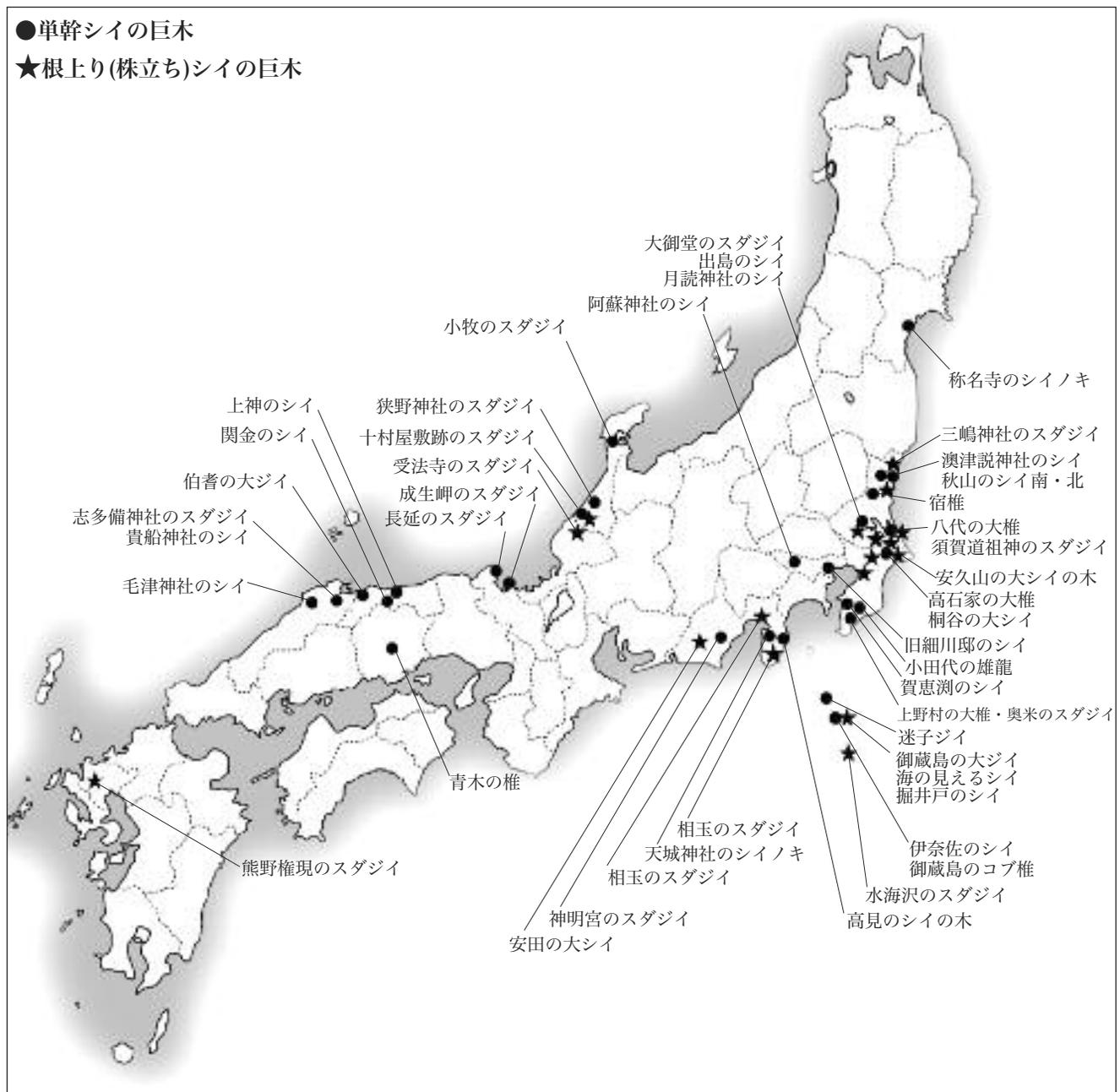
### ■単幹シイの巨木評価基準

A 幹周おおむね 10m 以上の単幹樹、同等評価のシイの巨木。

B 幹周おおむね 7~10m の単幹樹、同等評価のシイの巨木。

C B 評価以下のシイの巨木。

シイの巨木位置図



## ■主な単幹シイの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	志多備神社のスタジイ 写真 S-001	M11.92m(1.3m 2008)	20m	島根県松江市八雲町西岩坂	県
A	称名寺のシイノキ 写真 S-002	M10.2m(1.3m 2006)	15m	宮城県亘理郡亘理町旭山	国
B	八代の大椎 写真 S-003	M10.05m(1.3m 2015)	13m	茨城県潮来市上戸	県
B	賀恵淵の椎 写真 S-004	M8.5m(1.3m 2015)	19m	千葉県君津市賀恵淵	市
B	伯耆の大シイ 写真 S-005	M9.4m(上部 0.2m 2012)	15m	島根県東伯郡琴浦町宮場字宮内	国
B	毛津神社のスタジイ 写真 S-006	M9.5m(上部 0.2m 2006)	10m	島根県出雲市佐田町毛津	なし
B	小牧のスタジイ 写真 S-007	M9.1m(1.3m 2008)	18m	石川県七尾市中島町小牧	町
B	伊奈佐のシイ 写真 S-008	M9.05m(上部 0.2m 2014)	15m	東京都御蔵島村 本道沿い	なし
B	上野村ノ大椎 写真 S-009	M8.95m(1.3m 2015)	24m	千葉県勝浦市名木	県
B	十村屋敷跡のスタジイ 写真 S-010	M8.73m(1.3m 2008)	20m	石川県加賀市小塩辻町	市
B	成生岬の大ジイ 写真 S-011	M8.45m(1.3m 2010)	20m	京都府舞鶴市成生	なし
B	宿椎 写真 S-012	M8.22m(1.3m 2015)	15m	茨城県桜川市本木雨引	村
B	上長瀬のスタジイ 写真 S-013	8.9m	13m	愛媛県四国中央市富郷町寒川山	県
B	旧細川邸のシイ 写真 S-014	8.13m	11m	東京都港高輪 1-16-25	都
B	高見のシイの木 写真 S-015	8.0m	20m	静岡県伊東市八幡野	市
B	天城神社のシイノキ 写真 S-016	7.7m	18m	静岡県伊豆市湯ヶ島町	市
B	高石家の大椎 写真 S-017	M8.1m(1.3m 2015)	16m	千葉県茂原市大沢 745	市
B	御蔵島のコブ椎 写真 S-018	8.0m(上部 0.3m 2012)	18m	東京都御蔵島村長坂	なし
B	小田代の雄龍 写真 S-019	M7.9m(1.3m 2015)	16m	千葉県夷隅郡大多喜町小田代	町
B	大淵寺のスタジイ 写真 S-020	M7.62m(1.3m 2008)	25m	三重県多気郡大台町久豆	県
B	迷子ジイ 写真 S-021	M7.55m(1.3m 2012)	15m	東京都三宅村大路池	村
B	青木の椎 写真 S-022	M7.0m(1.3m 2008)	18m	岡山県美作市青木字宇根	市
B	貴船神社のシイ 写真 S-023	8.4m	16m	島根県雲南市加茂町南加茂	県
B	奥米のスタジイ 写真 S-024	8.1m	15m	千葉県君津市奥米	なし

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	上神のシイ 写真 S-025	8.1m	15m	鳥取県倉吉市上神	なし
B	宮ヶ原天神社のスダジイ 写真 S-026	7.8m	28m	静岡県賀茂郡西伊豆町大沢里宮ヶ原	町
B	大御堂のスダジイ 写真 S-027	M7.65m(1.3m 2015)	20m	茨城県つくば市筑波	なし
B	桐谷の大シイ 写真 S-028	7.5m	15m	千葉県香取市桐谷	なし
B	長延のスダジイ 写真 S-029	7.3m	15m	京都府与謝郡伊根町長延	なし
B	関金のシイ 写真 S-030	7.2m	18m	鳥取県倉吉市関金町安保	県
B	澳津説神社のシイ 写真 S-031	7.1m	25m	茨城県日立市小木津町3丁目	市
B	秋山のシイ(北株) 写真 S-032	7.1m	25m	茨城県高萩市秋山	なし
B	秋山のシイ(南株) 写真 S-033	7.0m	20m	〃	なし
B	出島のシイ 写真 S-034	7.0m	20m	茨城県かすみがうら市下軽部	県
B	狭野神社のスダジイ 写真 S-035	M7.02m(1.3m 2007)	16m	石川県能美市佐野町	市
B	阿蘇神社のシイ 写真 S-036	6.2m	18m	東京都羽村市羽加美46-7	都
C	月読神社のシイ	M6.38m(1.3m 2015)	30m	茨城県つくば市樋の沢	なし
C	須賀道祖神のスダジイ	7.0m	12m	茨城県鹿嶋市須賀	なし
C	神明宮のスダジイ	7.7m	15m	静岡県島田市伊久美長島	なし



写真 S-003  
やしろ おおしい  
八代の大椎

神明神社の御神木ということだが、道路沿いに立っている。かつては巨大なシイノキであったが、主幹背後は崩れ、見事な樹冠を呈していた往時を偲ぼせるのは、幹周の大きさだけである。樹下には古い石碑が並び、多くの人々が巨大生命体を信仰のよりどころとしていた事を伺わせている。(下・全景)





▲写真 S-001  
 日本一のスダジイ  
 志多備神社のスダジイ

志多備神社のスダジイは、本殿から少し離れた境内中央に、玉垣に囲まれて鎮座する。地上2mで10分岐し、分岐幹の幹周が3m台が6本、1~1.5m台が4本もある。枝張りは25m×27mに及ぶ巨大な樹冠を形成して、樹下は昼なお暗い。

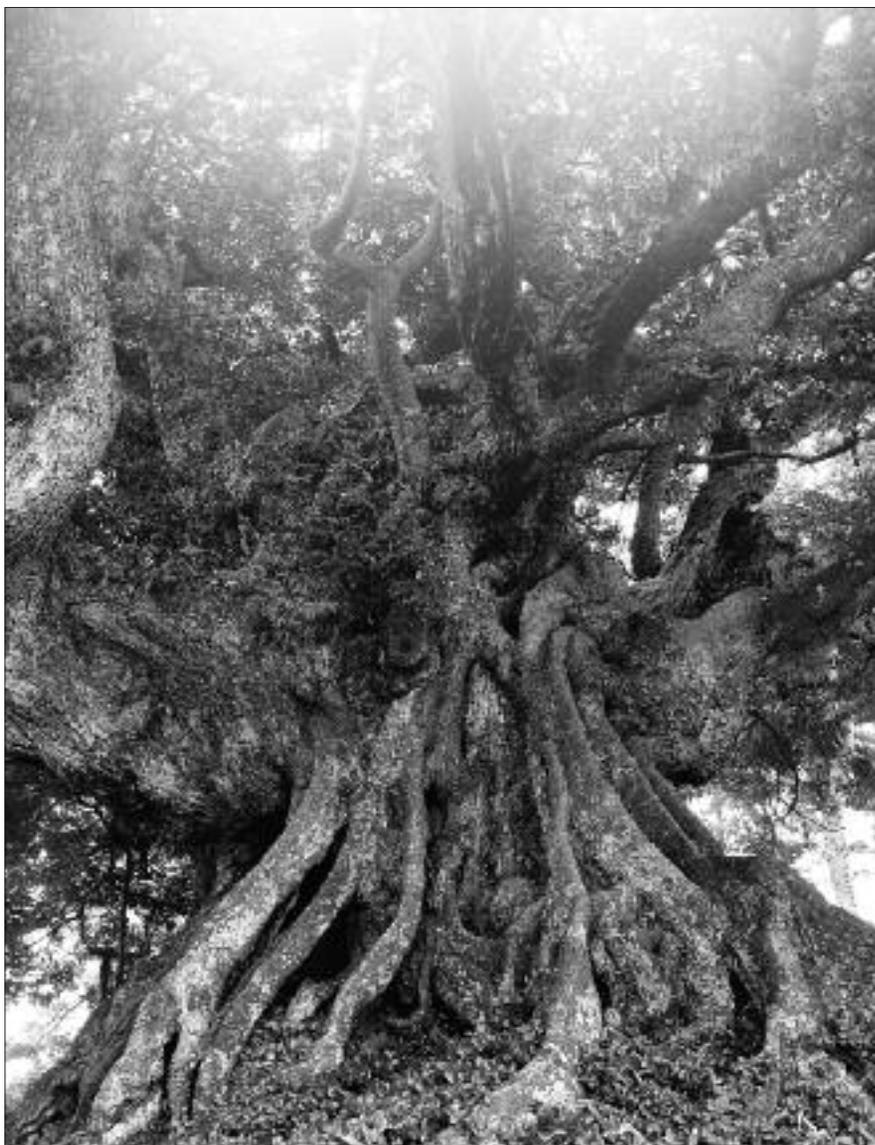
桑並地区全体の総荒神として人々から崇敬されて、毎年11月9日に総荒神祭りが行われる。藁で造った大蛇を幹に祀る行事が行われ、翌年も大蛇がそのまま残されている(下写真)。頭を幹の分岐部に置き、胴体を根元に巻き付ける。このような巨木は全国でも例がない。



▼写真 S-005  
 伯耆の大シイ

小高い丘の斜面に立つ。地元では日本一のシノキとされる。根拠は巨木DBの幹周11.4mだが、山側1mから水平に出る巨大な幹(幹周約3m)を分岐幹として主幹に合計したものか?。現在、ひこばえが主幹を取囲み、このような樹形での幹周測定には道具が必要である。枝張りは見事で、水平に伸びる幹は、15mも伸びて、地面に着く程に垂れ、樹勢は旺盛である。





◀写真 S-002  
しょうみょうじ  
称名寺のシイノキ

日本最北端のスダジイの巨木である。ツブラジイとの見解もあるが、残念ながら確認できない。地上2m辺りが最もくびれている。地上1.3mの測定部では幹周が10.2mだが、分岐部で大きく広がる樹形のため、実際は幹周以上の迫力がある。境内にはマツの巨木や、墓地の端には幹周6m程の単幹スダジイの巨木も見られ、古寺の雰囲気が溢れる寺院である。



▲写真 S-006  
けづ  
毛津神社のスダジイ

上は本殿の左に立つシイで、背後の山に幹周6m程のシイがもう一本ある。根元が大きく広がる樹形で、幹周は大きな数字が出た。



◀写真 S-004  
かえふち  
賀恵湊の椎

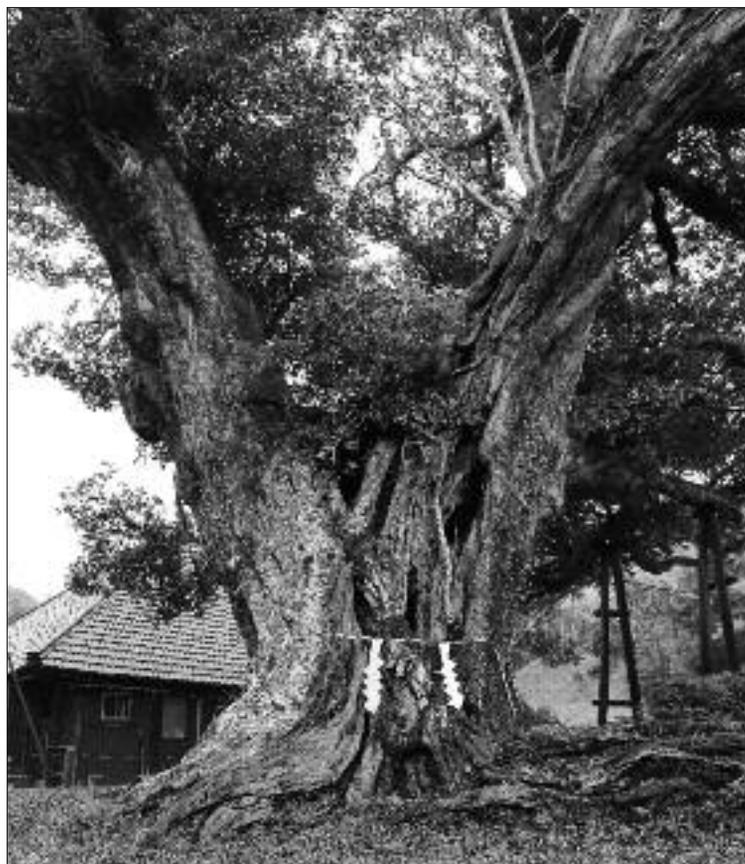
八坂神社境内全体を覆うように広がる怪樹である。まるで龍がうねるような姿に圧倒される。主幹は大きく斜上し(下写真)、1~3mで5分岐する。幹周は、傾斜する主幹の中心線に直角に測定された。9.5mとの報告値は、主幹に対して水平に測定したものだろう。





▲写真 S-007  
小牧のスダジイ

白山神社の石段の右手斜面に立つ。老樹の風格を持つ主幹は、枯れた部分が多いが、何とか生命を維持し続けている。



▲写真 S-009  
上野村の大椎

寂光院の隣の広場に立つ。5mで2分岐し、大きく枝葉を広げる見事なスダジイである。主幹内部は空洞化するものの、樹勢は旺盛である。

▼写真 S-008  
伊奈佐のシイ

御蔵島唯一の集落である里から、廃村になった南郷に向かう本道沿いに立つ。御蔵島の巨木の多くは立入り禁止が多いが、根元に立っている。主幹には大きな空洞があり、不定根が手前に伸びる異様な樹形。御蔵島で近年発見されたスダジイの巨木の多くは根上り樹形で、これは根元にオオミズナギドリが営巣するため。御蔵島では珍しい単幹スダジイである。古株更新の可能性がある。





▲写真 S-010

とむらやしきあと

### 十村屋敷跡のスタジイ

広大な屋敷跡の一段高くなった道路際に立つ。根元が大きく膨らみ、ひこばえが出ていたが、刈り込まれている。跡地に大小 11 本のスタジイがあり、分岐幹のスタジイもある。



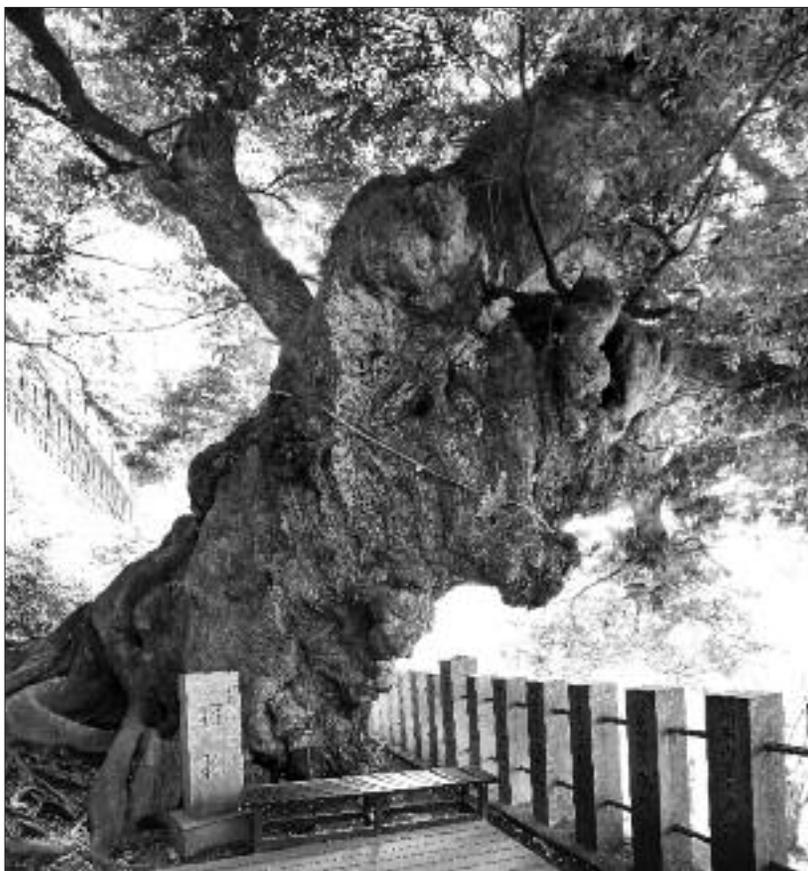
▲写真 S-011

なりゆうみさき

### 成生岬の大ジイ

成生岬の先端部の原生林の中にあり、国土地理院の地図には山道があったが、現在廃道になった。2009 年、山に分け入って調査を試みたが、藪がひどく断念した。渡船でしか到達できない。

これは、近年釣人によって確認されたもので、2010 年の調査で、樹下で瓦の破片が見つかった。宗教施設があったようで、地元の御神木であったようだ。根元で 2 本の側幹が出る樹形で、幹周 13m の公表値は合計周。主幹の幹周は 8.45m の堂々たる単幹樹。



◀写真 S-012

やどしい

### 宿椎

雨引観音として有名な樂法寺の参道石段途中に立つもので、主幹は大きく斜上する。地上 4m で大小 4 分岐し、主幹にはコブが多い。幹周測定は、主幹の中心線に直角に測定したもの。



▲写真 S-013  
かみながせ  
上長瀬のスダジイ

スダジイの巨木が群生していたが、この一本を残して全て伐採した。主幹は空洞化し、老樹である。  
(写真・Web画像)



▲写真 S-014  
きゅうほそかわてい しい  
旧細川邸の榎

主幹は10mで切断され、枝葉を広げて伸び、半円形の樹形となる。熊本藩細川家の下屋敷があった所。(写真・Web画像)



▲写真 S-015  
たかみ  
高見のシイの木

八幡宮来宮神社へ向かう道の途中、高い石垣の上に立つシイノキの怪樹。  
(写真・Web画像「木々の移ろい」梅本)



▲写真 S-017  
たかいしげ おおじい  
高石家の大榎

高石家の門の前に立つスダジイの古木。根元は空洞化し、上部が細くなる樹形であるが、存在感はある。

▼写真 S-018  
みくらじま しい  
御蔵島のコブ榎

里から南郷へ向かう本道沿い、少し山側に入った斜面に立つ、御蔵島では珍しい単幹スダジイ。根元が巨大なコブ状になる異様な樹形をしている。





▲写真 S-016  
あまぎ  
天城神社のシイノキ

地元では「お宮の椎の木」と呼び、地元の神様である。  
(写真・石田徹)



▲写真 S-019  
こただい おりゅう  
小田代の雄龍

「日枝神社の椎」とも言われるが、一般には雄龍として知られるスダジイの巨木。参道入り口に立ち、かつては見事な樹形であったろうが、現在は多くの幹が切断されて、姿が変わってしまった。境内の奥には株立ちの「雌龍」がある。



▲写真 S-020  
たいえんじ  
大淵寺のスダジイ

寺の背後の山全体が墓所になっていて、その一角に立っている。根元が大きく広がる樹形。

▼写真 S-021  
まいご  
迷子ジイ

三宅島の南端、大路池近くの林道沿いに立つ怪樹。上部3~4mで爆発するかのように幹を広げる様子は、実に圧巻である。水平に伸びた幹は7~8mにも及び、いったいどのような成長過程をたどったものか。古株更新のようにも見えるが、スダジイの古株更新のサンプルが少ないため、正確には判断できない。





▲写真 S-022 山下家の裏庭に立ち、同家の守護木として大切にされている。3mで4分岐し、主幹は苔むし、根元が大きく広がり、実に安定感のある樹形をしている。  
あおき しい  
**青木の椎**



▲写真 S-023  
きふね  
**貴船神社のシイ**  
 (写真・石田徹)



▲写真 S-024  
おくごめ  
**奥米のスタジイ**

個人宅の屋敷に立つもので、主幹は実に荒々しく、古木の風格がある見事な単幹シイである。  
 (写真・石田徹)



◀写真 S-025  
かざわ  
**上神のシイ**

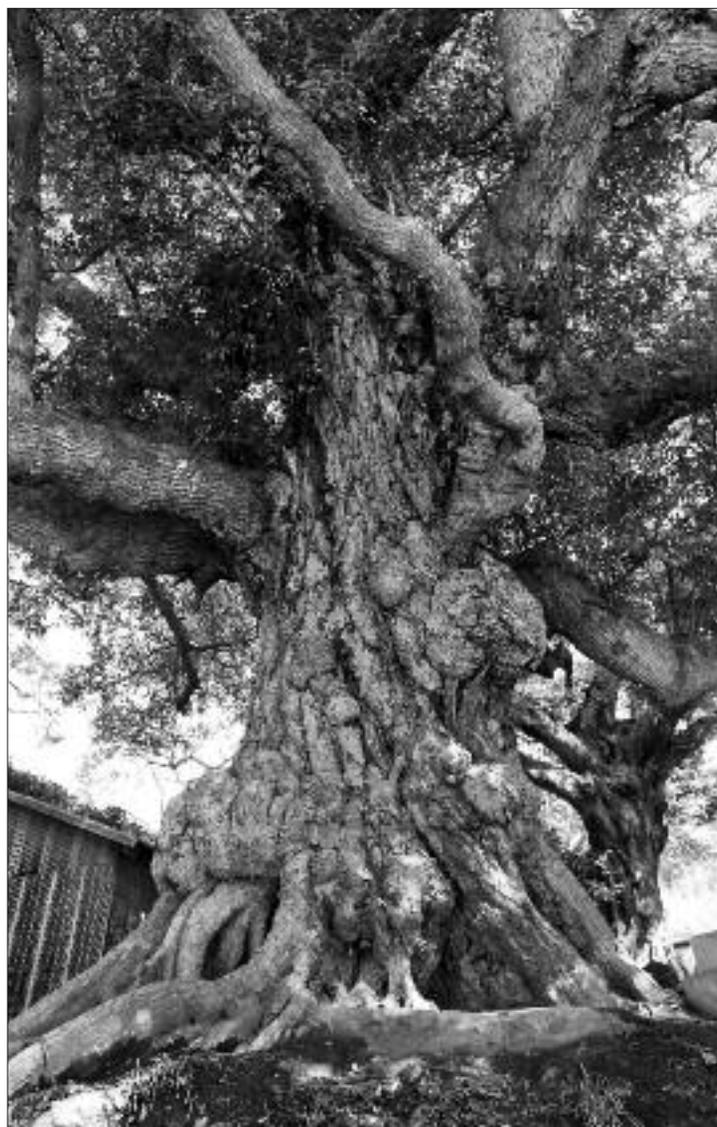
旧家の屋敷に立つもので、2mで2分岐する堂々たる樹形のスタジイである。  
 (写真・石田徹)

▼写真 S-027  
おおみどう  
**大御堂のスタジイ**

筑波山神社の大御堂左手に立つ3本のスタジイの内の最大株。主幹は10m程立上がり、大枝が8本水平に伸び、大きな樹冠を形成している。主幹に大きなコブが多く、古木の風格が漂う名木である。



▲写真 S-026  
**宮ヶ原天神社のスタジイ**  
 (写真・石田徹)





▲写真 S-028  
きりざく  
桐谷の大シイ  
(写真・石田徹)



▲写真 S-029  
ちようえん  
長延のスタジイ  
(写真・Web 画像)



▲写真 S-030  
せきがね  
関金のシイ  
(写真・谷田元彦)



▲写真 S-031  
おくつせ  
澳津説のシイ  
(写真・Web 画像)



▲写真 S-032  
秋山のシイ(北株)  
(写真・石田徹)



▲写真 S-033  
秋山のシイ(南株)  
(写真・石田徹)



▲写真 S-034  
でじま  
出島のシイ  
長福寺の山門左に立つ。樹下に石仏が多く、  
信仰の対象になっている巨木である。  
(写真・Web 画像)



▲写真 S-035  
の  
狭野神社のスタジイ  
神社本殿の裏に立つ見事なスタジイの巨木。  
(写真・Web 画像)



▲写真 S-036  
あそ  
阿蘇神社のシイ  
境内に柵に囲まれて立ち、幹周 6.2m の  
記録時よりは、かなり太くなっている印  
象がある。  
(写真・Web 画像)

## 9-H-2 根上り・株立ちシイの巨木

### ■根上りシイ・株立ちシイの巨木評価基準

- A 株周おおむね 13m 以上の根上りシイ・株立ちシイの巨木。
- B 株周おおむね 9～13m の根上りシイ・株立ちシイの巨木。
- C B 評価以下の根上りシイ・株立ちシイの巨木。

※シイの巨木の多くは、根上りもしくは株立ち樹形である。巨木 DB では、単幹樹形と根上り樹形を同一評価し、混乱をきたしている。本書では、区別して評価することにする。

### ■主な根上り・株立ちシイの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	御蔵島の大ジイ 写真 SK-001	株周 M13.24m(1.6 2012)	20m	東京都御蔵島村南郷	なし
B	海に見えるシイ 写真 SK-002	株周 12.33m	不明	〃	なし
B	掘井戸のシイ 写真 SK-003	株周約 12m	不明	〃	なし
B	安久山の大シイの木 写真 SK-004	株周 M12.5m(1.3m 2015)	19m	千葉県匝瑳市安久山	市
B	熊野権現のスタジオ 写真 SK-005	株周 11.9m	20m	佐賀県多久市北多久町多久原	なし
B	安田の大シイ 写真 SK-006	株周 M10.65m(0.8 2015)	27m	静岡県島田市大代安田	県
B	幡谷薬師堂のスタジオ 写真 SK-007	株周 12.9m	25m	千葉県成田市幡谷宮前	なし
B	空禅寺のイタジイ 写真 SK-008	株周約 10m	14m	茨城県土浦市手野町	なし
B	神向寺のスタジオ 写真 SK-009	株周 9.7m	23m	茨城県鹿嶋市神向寺	なし
B	加藤洲のスタジオ 写真 SK-010	株周 9.5m	不明	千葉県香取市加藤洲	なし
B	三嶋神社のシイ 写真 SK-011	株周 M10.02m(1.3 2015)	17m	茨城県那珂市本米崎	町
B	地藏ヶ平のスタジオ 写真 SK-012	株周 10.0m	15m	静岡県伊豆市筏場	市
B	上下諏訪神社のシイ 写真 SK-013	株周 10.0m	15m	千葉県市原市諏訪 2 丁目	市
B	栄松院のスタジオ 写真 SK-014	株周 9.15m	10m	東京都文京区向丘 2-35-7	なし
B	西島家のスタジオ 写真 SK-015	株周 10.5m	15m	静岡県裾野市千福	なし
B	相玉のスタジオ	株周 9.0m	15m	静岡県下田市相玉	なし
C	十村屋敷跡のスタジオ 写真 SK-016	株周 M8.82m(1.3 2009)	22m	石川県加賀市小塩辻町	市
C	箱宮のスタジオ 写真 SK-017	株周 M6.8+6.6m(0.5m)	15m	石川県加賀市箱宮町	市
C	里の与兵衛の椎の木 写真 SK-018	株周 7.6m	24m	石川県輪島市里町	市

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	押畑の大シイ 写真 SK-019	株周 8.5m	18m	千葉県成田市押畑	市
C	受法寺のスタジイ 写真 SK-020	株周 8.4m(1.3m 2012)	20m	福井県坂井市丸岡町山久保	なし
C	水海沢の大スタジイ 写真 SK-021	株周 8.0m	18m	東京都八丈島水海沢	なし
C	諏訪神社のシイ	株周 8.0m	16m	千葉県香取市佐原諏訪台	なし
C	堂形のシイ(東株) 写真 SK-022	株周 7.8m	11m	石川県金沢市広坂 2-1-1	国
C	堂形のシイ(西株) 写真 SK-023	株周 5.2m	10m	”	国



写真 SK-001

### 日本一の根上りスタジイ

#### みくらじま 御蔵島の大ジイ

1995年、巨樹の会が御蔵島の巨木調査で発見し、幹周 13.79m で日本一のスタジイとされた。巨木学のM式測定法では、幹が詰まった巨木と、根上りの巨木は区別するので、実態を正確に把握するために、2012年3月に、御蔵島役場の協力を得て調査を行った。結果、予想通り完全な根上りであった。地上 1.3m 地点の株周を測定する事になるが、巨大な板根が4本張り出し(下左写真)、1.3m 地点での幹周は実態を表現しない。そこで、地上 1.6m の板根が狭まった地点を測定した。この地点でも、板根が少し張り出していて、巻尺と幹との間に空間ができ、幹の実態とは少し開きがある。しかし、根上りのスタジイでは、これ程の株周を記録するものが他に無いことから、日本一の根上りスタジイに違いはない。

地元では、この地はガイドなしでは訪問できず、又、樹下への立入りは制限されるため、全容を見る事はできない。





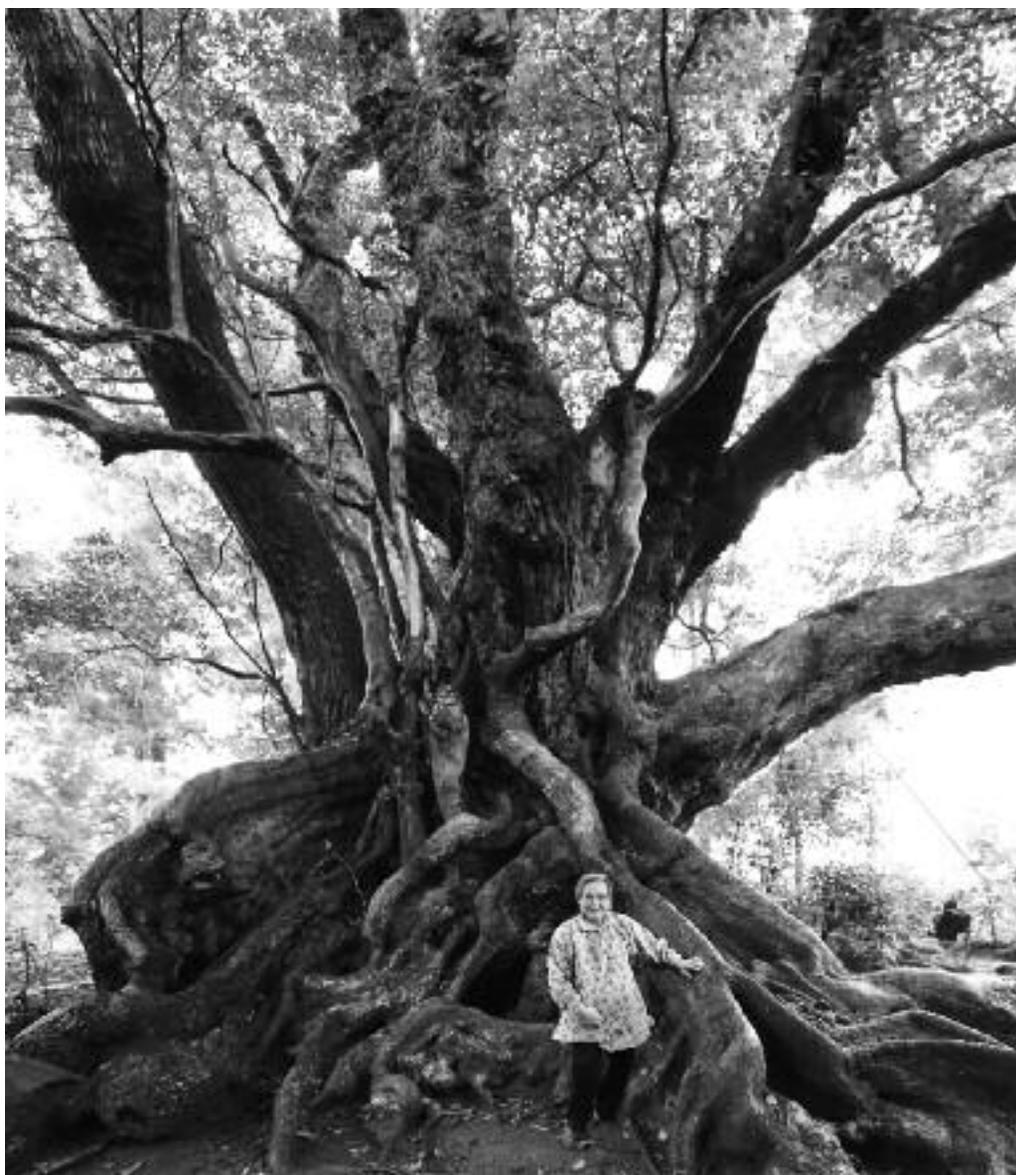
▲写真 SK-002  
海<sup>うみ</sup>の見えるシイ

御蔵島南郷地区、大ジイへの遊歩道沿いから入った場所  
所にあり、民有地にあり立入りには許可が必要。  
(写真・Web 画像)



▲写真 SK-003  
掘井戸<sup>ほりいど</sup>のシイ

御蔵島南郷地区、大ジイへの遊歩道沿いから入った場所  
にあり、民有地にあり立入りには許可が必要。  
(写真・Web 画像)



◀写真 SK-004  
安久山<sup>あぐやま</sup>の大シイの木<sup>おお</sup>

平山家の裏庭に立つ巨大な  
シイノキ。根上り樹形で、巨  
大な根の発達が著しい。拝観  
は有料。



▲写真 SK-007  
幡谷薬師堂<sup>はたやくしどう</sup>のスタジイ  
(写真・石田徹)



▲写真 SK-005

くまのごんげん  
**熊野権現のスタジイ**

石段を登った上部に立ち、根元で多数に分岐する株立ち樹形。  
(写真・Web画像)

写真 SK-006▶

あんだ  
**安田の大シイ**

旧金谷町の台地上に立つ。根元で複数に分岐する樹形。樹下に祠があり、地元の信仰を集めている御神木。



▲写真 SK-008

くうぜんじ  
**空禅寺のスタジイ**

根元で2本が融合する樹形。  
(写真・Web画像)



▲写真 SK-010

かとうず  
**加藤洲のスタジイ**

民家の一角に立つもので、根元近くで2分岐する樹形。  
(写真・石田徹)



◀写真 SK-009

じんこうじ  
**神向寺のスタジイ**

幼稚園の敷地内にあり、根上りスタジイである。  
(写真・石田徹)

写真 SK-011▶

みしま  
**三嶋神社のシイ**

参道入り口に立つもので、根元近くで大小3分岐する樹形。





▲写真 SK-012  
じぞうがだいら  
地蔵ヶ平のスタジイ

林道を800m入り、崖地を登った台地に立つ天然スタジイ。根上り樹形である。(写真・Web画像)



▲写真 SK-013  
じょうげ  
上下諏訪神社のシイ

境内地の古墳の上に立つスタジイで、根元で融合する2本の合体木か?。(写真・Web画像)



▲写真 SK-014  
栄松院のスタジイ  
(写真・Web画像)

▼写真 SK-016  
とむらやしきあと  
十村屋敷跡のスタジイ

広大な跡地には11本のスタジイがあり、単幹の部に掲載された他、根上りの最大株が本樹。

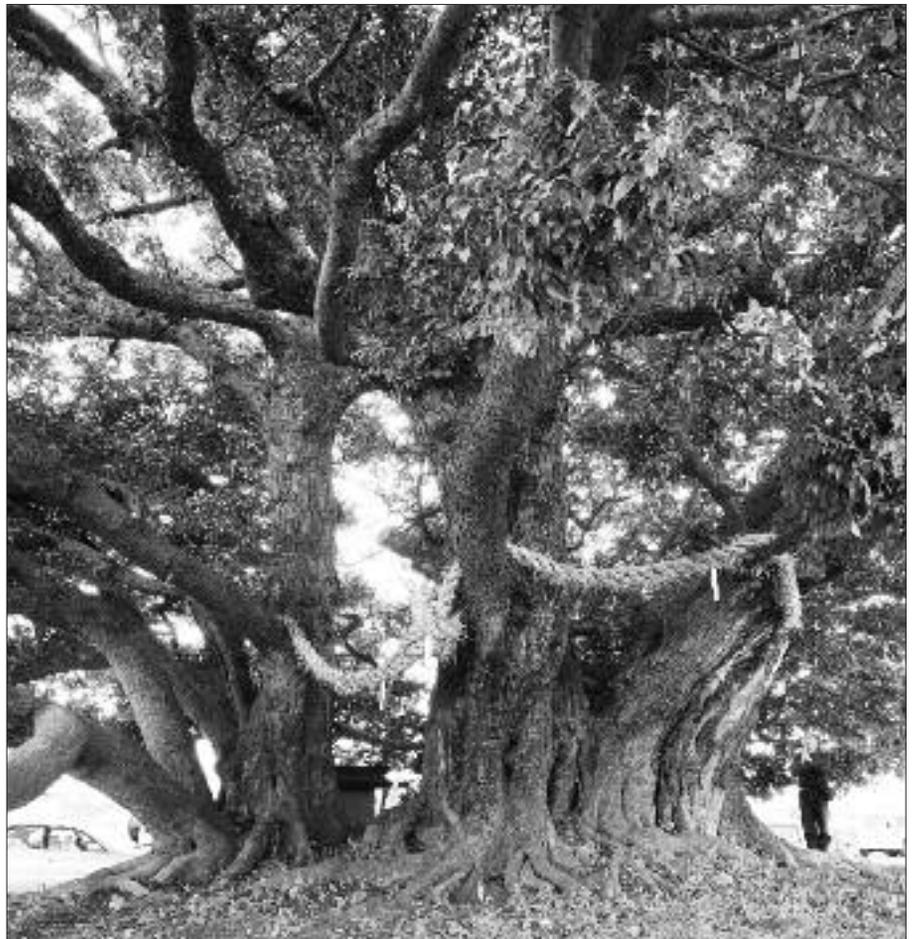


▼写真 SK-017  
はこみや  
箱宮のスタジイ

旧大平宮の跡地に立つ。元は巨大なスタジイであった。現在大小3株の株立ちスタジイが接近して立つ。株周はその内の2本を測定。このような樹形は大変珍しいもの。中心部に主幹があつて、その側幹が巨大化した後、主幹が朽ち、残った幹がこのような樹形になったもの。



▲写真 SK-015  
西島家のスタジイ  
(写真・Web画像)





◀写真 SK-018  
里の与兵衛の椎の木

里集落にあり、所有者であった「与兵衛」の屋敷にあった。根元近くで2分岐する樹形である。

写真 SK-020▶

受法寺のスタジイ

寺の広大な中庭の奥に立つが、背後にある町道から見える。根元近くで大小5分岐する樹形。



◀写真 SK-019  
押畑の大シイ  
(写真・石田徹)

写真 SK-021▶

水海沢の大スタジイ

八丈島、水海山の谷間に立つ根上り樹形のスタジイ。  
(写真・Web 画像)



▼写真 SK-022・23

堂形のシイノキ(東・西)

旧石川県庁の玄関前に立つ二株のスタジイ。

